

平成28年度病害虫発生予報第4号

平成28年 7月 1日
愛知 県

普通作物

・ 予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への 影響
イネ	いもち病 (葉いもち)	やや多い	県全域	6月の発生量はやや多い 7月の降水量は平年並	±
	紋枯病	やや多い	県全域	6月の発生量はやや多い 前年の発生量はやや多い 7月の降水量は平年並	±
	セジロウンカ	やや多い	県全域	6月の発生量はやや多い	±
	ツマグロヨコバイ	やや多い	県全域	6月の発生量はやや多い	±
	カメムシ類	やや多い	県全域	畦畔における6月の発生量は平年並 予察灯における誘殺数はやや多い	±
	フタオビコヤガ (イネアオムシ)	平年並	県全域	6月の発生量は平年並	±
	イチモンジセセリ (イネツトムシ)	平年並	県全域	6月の発生量は平年並	±

・ 防除対策

[イネ・いもち病]

本日発表の「いもち病 (葉いもち) 情報第2号」を参照してください。

[イネ・紋枯病]

病斑が上位葉に伸展する前に、モンカット粒剤、オリブライト1キロ粒剤、モンガリット粒剤などで防除しましょう。

[イネ・セジロウンカ]

発生が多いほ場では、トレボン粒剤、キラップフロアブル、スタークル豆つぶなどで防除しましょう。

発生状況等詳細は本日発表の「ウンカ情報第1号」を参照してください。

[イネ・ツマグロヨコバイ]

発生が多いほ場では、トレボン粒剤、ベストガード粒剤、スタークル豆つぶなどで防除しましょう。

[イネ・カメムシ類]

本日発表の「斑点米カメムシ類情報第1号」を参照してください。

果樹

・ 予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報へ の影響
ウンシュウミカン	そうか病	やや多い	県全域	6月の発生量はやや多い 7月の降水量は平年並	± ±
	黒点病	やや多い	県全域	5月の枯枝の孢子形成量はやや多い 7月の降水量は平年並	± ±
	ミカンハダニ	やや少ない	県全域	6月の発生量は少ない 7月の気温は高い	- +
	チャノキイロアザミウマ	やや多い (やや早い)	県全域	粘着トラップにおける誘殺数はやや多い 6月のイヌマキにおける発生量はやや少ない	± -
ナシ	黒星病	やや多い	県全域	6月の発生量はやや多い 7月の降水量は平年並	± ±
	うどんこ病	平年並	県全域	6月の発生量は平年並	±
	シンクイムシ類	やや多い (やや早い)	県全域	フェロモントラップにおける誘殺数は平年並 6月のモモの被害新梢率はやや高い	± +
	ハダニ類	やや多い	県全域	6月の発生量は平年並 7月の気温は高い	± +
モモ	せん孔細菌病	多い	県全域	6月の発生量は多い 7月の降水量は平年並	± ±
	灰星病	平年並	県全域	4月の花腐れの発生量は平年並 7月の降水量は平年並	± ±
	ナシヒメシンクイ	やや多い (やや早い)	県全域	6月の発生量はやや多い フェロモントラップにおける誘殺数はおおむね平年並	± ±
	モモハモグリガ	やや少ない	県全域	6月の被害葉率は平年並 フェロモントラップにおける誘殺数はやや少ない	± -
	ハダニ類	やや多い	県全域	6月の発生量は平年並 7月の気温は高い	± +
ブドウ	黒とう病	平年並	県全域	6月の発生量は平年並 7月の降水量は平年並	± ±
	べと病	平年並	県全域	6月の発生量は平年並 7月の降水量は平年並	± ±
	チャノキイロアザミウマ	平年並	県全域	粘着トラップにおける誘殺数は平年並 6月のイヌマキにおける発生量は少ない	± -

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への 影響
カキ	角斑落葉病 円星落葉病	やや多い	県全域	前年秋の発生量はやや多い 7月の降水量は平年並	＋ ±
	うどんこ病	多い	県全域	6月の発生量が多い	＋
	コナカイガラ ムシ類	平年並	県全域	6月の発生量は平年並	±
果樹共通	カメムシ類	やや多い	県全域	予察灯及びフェロモントラップ における誘殺数は平年並 7月の気温は高い スギ・ヒノキ球果量はやや少ない	± ＋ ＋

・防除対策

[ウンシュウミカン・そうか病]

発病した葉や果実を取り除き、園外へ持ち出して処分しましょう。ファンタジスタ顆粒水和剤やベルクト水和剤などで防除しましょう。

[ウンシュウミカン・黒点病]

ジマンダイセン/ペンコゼブ水和剤などで防除しましょう。散布間隔は、累積降雨量200mmから250mmに達したとき、または散布後30日を目安としましょう。

[ウンシュウミカン・チャノキイロアザミウマ]

本日発表の「チャノキイロアザミウマ情報第3号」を参照してください。

[ナシ・黒星病]

発病した葉や果実を取り除き、園外へ持ち出して処分しましょう。オーソサイド水和剤80やストロビードライフフロアブルなどで防除しましょう。

[ナシ・シンクイムシ類]

フェロモントラップにおける誘殺状況に注意して、サムコルフロアブル10やノーモルト乳剤などで防除しましょう。

[ナシ・ハダニ類]

発生が多いほ場では、カネマイトフロアブルやマイトコーネフロアブルなどで防除しましょう。

[モモ・せん孔細菌病]

5月31日発表の「平成28年度発生予察注意報第4号」を参照してください。農薬の使用にあたっては、収穫前日数及び他の園への飛散に注意してください。また、早期落葉を防ぐために、収穫終了後にICボルドー412などで防除しましょう。

[モモ・ナシヒメシンクイ]

芯折れは見つけ次第取り除き、処分しましょう。芯折れが多く見られる場合は、スタークル/アルバリン顆粒水溶剤、サムコルフロアブル10などで防除しましょう。農薬の使用にあたっては、収穫前日数及び他の園への飛散に注意してください。

[モモ・ハダニ類]

発生が多いほ場では、スターマイトフロアブルやダニゲッターフロアブルなどで防除しましょう。

[カキ・角斑落葉病、円星落葉病]

発生を確認したほ場や昨年発生したほ場ではオンリーワンフロアブルやチオノックフロアブルなどで防除しましょう。

[カキ・うどんこ病]

早期落葉を防ぐため、スコア顆粒水和剤やストロビードライフフロアブルなどで防除しましょう。

[果樹全般・果樹カメムシ類]

5月31日発表の「平成28年度病害虫発生予察注意報第3号」、本日発表の「果樹カメムシ情報第2号」を参照してください。

・留意事項

ブドウべと病は、降雨が続くと急速に蔓延するおそれがあります。発生を確認したら速やかに防除しましょう。

花き

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への 影響
キク (露地)	白さび病	多い	県全域	6月の発生量は多い 7月の降水量は平年並	±
	アブラムシ類	平年並	県全域	6月の発生量は平年並 黄色水盤、黄色粘着トラップに おける誘殺数は平年並	±
	ハダニ類	やや多い	県全域	6月の発生量は平年並 7月の気温は高い	±
	アザミウマ類	平年並	県全域	6月の発生量は平年並	±
	オオタバコガ	やや多い	県全域	フェロモントラップにおける誘 殺数はやや多い	+

・防除対策

[キク (露地) ・ 白さび病]

5月30日発表の「平成28年度病害虫発生予察注意報第5号」を参照してください。

[キク (露地) ・ ハダニ類]

発生ほ場では、カネマイトフロアブルやコロマイト乳剤などで防除しましょう。

[キク (露地) ・ オオタバコガ]

発生ほ場では、プレオフロアブルやディアナSCなどで防除しましょう。

・留意事項

アブラムシ類やアザミウマ類が多発しているほ場があります。発生状況を確認し、発生ほ場では、防除しましょう。

なお、薬剤防除に当たっては薬剤感受性の低下を防ぐために、系統の異なる農薬でローテーション散布を行いましょう。

参考

東海地方 1か月予報 (名古屋地方気象台6月30日発表)

〈予想される向こう1か月の天候〉

期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率60%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率60%です。2週目は、高い確率60%です。3～4週目は、平年並または高い確率40%です。

〈向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率〉

[気 温] 低 い：10% 平年並：30% 高 い：60%

[降 水 量] 少 ない：30% 平年並：40% 多 い：30%

[日 照 時 間] 少 ない：30% 平年並：40% 多 い：30%